



# 「ぼくの わたしの すきな 本」



こんな本だよ



(出版社：鈴木出版)

みかんのしゅうかくのときに、のうかのおじさんがつみわすれた「この「みかんくん」が、なかまのみかんをたくさんつんであるトラックをがんばっておいかけていくおはなしです。とちゅう、とりやどうぶつに出会ったり、急なさかをころがったりしながら、みかんくんがなかまにおいつけるかどうかドキドキするお話です。

この本のこじがすきー！

ぼくがすきなところは、りっ体かんのある絵です。夕方に なかまをおいかけるみかんくんのかげがながくのびて、ころがりながらじてん車をおいぬくばめんはみかんくんのいっしょうけんめいなきもちがつたわってきます。山道のさいごのカーブで青い車とすれちがうばめんはみかんくんのころがるスピードが車よりはやく感じられるので、たいへんなばめんなのにおもしろくて楽しくよむことができます。絵がすきな人にもおすすめの本です。

本の名前 なまえ

ちよつとまつてー！

本を書いた人 か

みさか たつま (作・絵) さく え

なかま 仲間のみかんをおいかける、みかんくんの  
ぼうけんが始まるよ。みかんくんのいっしょうけんめい 一生懸命さが  
はくりよくのある絵からも伝わってくるね。

